

重点施策個別表

2-1

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
1	規律ある落ち着いた生活ができ、心豊かで、実行力のある子どもをはぐくむ指導		担当課(館)
	① 学校訪問指導の実施		学校教育課
	活動内容	年2回の要請訪問等での指導を充実させるとともに、要請訪問のための事前訪問を確実に実施して学校の課題を把握しながら指導に生かすように努める。 また、学校からの相談に気軽に対応できる体制を確立する。	
	自己評価	課題把握のための事前訪問を実施し、諸検査の結果と併せて学校課題を把握して要請訪問を実施したことで、学校の実態に即した指導をすることができた。 また、要請訪問だけでなく、学校からの随時相談に応じた学校訪問を行い、学校の課題解決に向けた支援を充実させることができた。 今後、訪問のねらいをより学校の課題に基づいたものにするために、さらなる工夫が必要である。	
	② いじめ・不登校対策事業の実施		学校教育課
	活動内容	推進委員と協力してふれあい親の会・ふれあいお楽しみ会・学級担任研修会の内容の充実を図るとともに、いじめ・不登校に関する調査を実施し、分析した結果の活用方法を工夫するなど、いじめ件数・不登校児童生徒数が減少するように努める。	
自己評価	昨年度の反省を踏まえ、推進委員や各学校との連携を密にした結果、ふれあい親の会やお楽しみ会に例年以上の参加があり、内容を充実させることができた。 また、不登校調査の様式を変えたことで、児童生徒の変容の把握と学校での活用が充実した。 今後は、本事業をさらに多くの教職員に理解してもらうための工夫が必要である。		

重点施策個別表

2-2

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
2	基礎的・基本的な知識・技術を確実に身に付けさせ、自ら学ぶ意欲と態度を育てる学習指導		担当課(館)
	① 「第6次学力向上対策」の4つの共通実践事項		学校教育課
	活動内容	3年計画の2年目に当たり、「小・中連携を通じた学力向上の取り組み」・「各学校間の積極的な交流」・「諸検査の分析と結果に基づいた指導」・「確かな学力を確立するための教育課程の編成」の4つの共通実践事項の中間評価を行い、さらなる取り組みの充実を図る。	
	自己評価	今年度計画した第6次学力向上対策の中間評価を予定どおり実施することができた。 様々な視点からの評価を行い、平成20年度から今年度前期までの課題を明確にし、各学校等に周知することでさらなる意欲の喚起を図ることができたことは評価できる。	
	② ALT等の学校訪問		学校教育課
	活動内容	ALT3名による中学校の訪問指導を継続しながら新しく始まる小学校外国語活動に支援員2名を派遣し、効果的な活用を図るとともに、小学校外国語活動が充実できるような支援を行う。	
自己評価	ALT3名の訪問を継続しながら支援員2名を新たに派遣したことにより、中学校の英語授業だけではなく小学校英語活動の充実を図ることができた。 学校から訪問時間数を増やしてほしいという要望が多いので、ALTあるいは支援員の増員を検討していく必要がある。		

重点施策個別表

2-3

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
3	地域に開かれた信頼される学校づくり		担当課(館)
	① 学校評価の充実		学校教育課
	活動内容	全小・中学校における学校評価の本格実施2年目に当たり、各学校において評価がスムーズに行えるような支援を充実させ、学校評価が学校経営の改善に結び付くようにする。	
	自己評価	「学校評価パンフレット」の見直しを行ったり、学校評価の進め方の具体を年度当初に学校に配布するしたりすることでスムーズに進めることができた。 全小・中学校が評価結果をホームページで公表するなど、本格実施2年目になり、学校評価が定着してきている。 また、今年度から学校関係者評価委員の報酬を予算化したことにより、さらに評価を充実させるための支援ができた。	
	② 教育委員会及び小・中学校のホームページによる情報発信		学校教育課
	活動内容	学校教育課及び教育研究所のホームページ内容を充実させ、市で取り組んでいることが学校や市民に周知できるようにする。 また、各学校のホームページが定期的に更新され、内容が充実するような支援を行う。	
自己評価	教育委員会については、課内担当事業や諸調査の分析結果などを掲載し、学校教育課・教育研究所ともに内容を充実させることができた。 学校については、パソコン研修会にホームページ研修を取り入れたり、ICT支援員を学校に派遣するなど、この取組みに対する意識改革を図っており、支援により徐々にではあるが充実することができた。 ただ、内容に学校差があるので、支援の継続が必要である。		

重点施策個別表

2-4

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
4	実践的指導力を高める教職員研修		担当課(館)
	① 教職員実践発表会及び教育講演会		学校教育課
	活動内容	教育実践発表会及び夏季教育講演会の内容を充実させる。また、昨年から実施している市教職員代表による研修視察と、今年度新たに実施する小・中学校教員の研修視察事業を通して教職員の指導力向上と研究主任の活性化を図り、その成果が生かされるようにする。	
	自己評価	<p>教職員研究実践発表会は発表数、発表内容ともに充実し、参加する教職員の意欲も高まってきている。</p> <p>また、研修視察事業の企画・実施を通して、研究主任の学校課題や授業改善への意識が高まるとともに、各校の研究実践が活性化した。</p> <p>夏季教育講演会・夏季休業中の研修(学級担任・パソコン)・講師研修会・市初任者研修・研修視察事業①(全小・中学校)・研修視察事業②(市教職員代表)・実践発表会など、教職員研修を体系化できたことは大きな成果である。</p>	
	② 市初任者研修		学校教育課
	活動内容	年5回の初任者研修の内容を充実させ、参加した初任者が意欲的に研修できる場になるようにする。	
	自己評価	<p>大館市の特長を生かした体験的な研修(幼稚園訪問・企業訪問・農業体験等)を実施し、フィールドワークや地域企業訪問を通して市の自然や文化、産業の理解を深めることができた。</p> <p>初任者の研修に対する意欲が高く、研修後の成果も大きい。</p>	
	③ 講師研修会		教育総務課
	活動内容	年4回の講師研修会の内容を工夫し、参加した講師が意欲的に研修できる場になるようにする。	
	自己評価	<p>模擬授業やQ-U調査活用の演習など、実践的な研修を取り入れて参加意欲の向上を図ることができた。</p> <p>また、教師としての心構えやサービスについての講話を取り上げたことは効果的であった。</p> <p>今後は、さらに内容を充実したものにして講師の力量を高めていく必要がある。</p>	

推進目標						
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造					
重点施策						
5	児童生徒の育成に資する教育環境の整備	担当課(館)				
	① 園及び学校教育環境適正化の推進	学校教育課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>今年度末に予定されている桂城幼稚園の閉園が、関係者の理解を得ながらスムーズに進むような取り組みを行う。 また、雪沢小学校、大葛小学校の学校統合に取り組み、地域の理解を得ながら目標を達成できるようにする。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>桂城幼稚園の閉園については、幼稚園との連携を密にして計画どおり作業を進めることができた。 教育環境適正化に係る小学校(雪沢小・大葛小)の学校統合については、地域住民や保護者の意向を尊重しながら計画に沿って説明会を実施することができた。また、中学校(第二中・花岡中・矢立中)への説明会も年度内に実施できた。 しかし、まだ合意には至っていないので今後も継続し、粘り強い取り組みが必要である。</td> </tr> </table>	活動内容	今年度末に予定されている桂城幼稚園の閉園が、関係者の理解を得ながらスムーズに進むような取り組みを行う。 また、雪沢小学校、大葛小学校の学校統合に取り組み、地域の理解を得ながら目標を達成できるようにする。	自己評価	桂城幼稚園の閉園については、幼稚園との連携を密にして計画どおり作業を進めることができた。 教育環境適正化に係る小学校(雪沢小・大葛小)の学校統合については、地域住民や保護者の意向を尊重しながら計画に沿って説明会を実施することができた。また、中学校(第二中・花岡中・矢立中)への説明会も年度内に実施できた。 しかし、まだ合意には至っていないので今後も継続し、粘り強い取り組みが必要である。	
活動内容	今年度末に予定されている桂城幼稚園の閉園が、関係者の理解を得ながらスムーズに進むような取り組みを行う。 また、雪沢小学校、大葛小学校の学校統合に取り組み、地域の理解を得ながら目標を達成できるようにする。					
自己評価	桂城幼稚園の閉園については、幼稚園との連携を密にして計画どおり作業を進めることができた。 教育環境適正化に係る小学校(雪沢小・大葛小)の学校統合については、地域住民や保護者の意向を尊重しながら計画に沿って説明会を実施することができた。また、中学校(第二中・花岡中・矢立中)への説明会も年度内に実施できた。 しかし、まだ合意には至っていないので今後も継続し、粘り強い取り組みが必要である。					
	② 給食センターの適正な運営と食育の推進	学校教育課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>体制が変わった給食センターの運営を軌道に乗せるとともに、調理場の衛生管理や給食費未納対策などの諸課題に的確に対応する。 また、栄養教諭や学校栄養職員と連携し、地産地消を推進するとともに食に対して学ぶ機会を充実させる。 さらに、課としての食育に対する取り組みを明確にし、市の食育推進計画の策定に協力する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>今年度から3名の専任センター長を配置したことで、調理場の衛生管理や職員指導及び関係事務処理をスムーズに進めることができた。 また、市学校給食運営委員会の内容を充実させたことで、共通する課題に対して迅速に対応できたことは大きな成果である。 食育の推進については、関係各課と連携しながら「大館市食育推進計画」を策定することができた。</td> </tr> </table>	活動内容	体制が変わった給食センターの運営を軌道に乗せるとともに、調理場の衛生管理や給食費未納対策などの諸課題に的確に対応する。 また、栄養教諭や学校栄養職員と連携し、地産地消を推進するとともに食に対して学ぶ機会を充実させる。 さらに、課としての食育に対する取り組みを明確にし、市の食育推進計画の策定に協力する。	自己評価	今年度から3名の専任センター長を配置したことで、調理場の衛生管理や職員指導及び関係事務処理をスムーズに進めることができた。 また、市学校給食運営委員会の内容を充実させたことで、共通する課題に対して迅速に対応できたことは大きな成果である。 食育の推進については、関係各課と連携しながら「大館市食育推進計画」を策定することができた。	
活動内容	体制が変わった給食センターの運営を軌道に乗せるとともに、調理場の衛生管理や給食費未納対策などの諸課題に的確に対応する。 また、栄養教諭や学校栄養職員と連携し、地産地消を推進するとともに食に対して学ぶ機会を充実させる。 さらに、課としての食育に対する取り組みを明確にし、市の食育推進計画の策定に協力する。					
自己評価	今年度から3名の専任センター長を配置したことで、調理場の衛生管理や職員指導及び関係事務処理をスムーズに進めることができた。 また、市学校給食運営委員会の内容を充実させたことで、共通する課題に対して迅速に対応できたことは大きな成果である。 食育の推進については、関係各課と連携しながら「大館市食育推進計画」を策定することができた。					
	③ 適切な事故防止計画の策定と突発的な事故への効果的な対応	学校教育課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>長期休業中の事故防止を中心に計画書を策定し学校に指導するとともに、関係各機関と連携を取りながらその指導に努める。また、突発的な事故(交通事故・水の事故、不審者、いじめや不登校、伝染病など)に対して迅速に対応し、児童生徒の安全確保に努める。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>通知文書や校長会・教頭会、生徒指導主事の会を通して事故防止の徹底を図り、今年度、命にかかわるような大きな事故がなかったことは大きな成果である。 また、特に10月から12月にかけて新型インフルエンザの発生があり、市内小・中学生の38%の児童生徒が罹患したが、大館保健所、市立病院など関係各課、学校などと連携して迅速に対応し、重症者を出さないなど被害を最小限に止めることができた。「新型インフルエンザ対応マニュアル」を作成して対応したことも成果の一つである。 不登校については、昨年と比較して発症者数が横ばいで減少に至らなかった。今後の課題である。</td> </tr> </table>	活動内容	長期休業中の事故防止を中心に計画書を策定し学校に指導するとともに、関係各機関と連携を取りながらその指導に努める。また、突発的な事故(交通事故・水の事故、不審者、いじめや不登校、伝染病など)に対して迅速に対応し、児童生徒の安全確保に努める。	自己評価	通知文書や校長会・教頭会、生徒指導主事の会を通して事故防止の徹底を図り、今年度、命にかかわるような大きな事故がなかったことは大きな成果である。 また、特に10月から12月にかけて新型インフルエンザの発生があり、市内小・中学生の38%の児童生徒が罹患したが、大館保健所、市立病院など関係各課、学校などと連携して迅速に対応し、重症者を出さないなど被害を最小限に止めることができた。「新型インフルエンザ対応マニュアル」を作成して対応したことも成果の一つである。 不登校については、昨年と比較して発症者数が横ばいで減少に至らなかった。今後の課題である。	
活動内容	長期休業中の事故防止を中心に計画書を策定し学校に指導するとともに、関係各機関と連携を取りながらその指導に努める。また、突発的な事故(交通事故・水の事故、不審者、いじめや不登校、伝染病など)に対して迅速に対応し、児童生徒の安全確保に努める。					
自己評価	通知文書や校長会・教頭会、生徒指導主事の会を通して事故防止の徹底を図り、今年度、命にかかわるような大きな事故がなかったことは大きな成果である。 また、特に10月から12月にかけて新型インフルエンザの発生があり、市内小・中学生の38%の児童生徒が罹患したが、大館保健所、市立病院など関係各課、学校などと連携して迅速に対応し、重症者を出さないなど被害を最小限に止めることができた。「新型インフルエンザ対応マニュアル」を作成して対応したことも成果の一つである。 不登校については、昨年と比較して発症者数が横ばいで減少に至らなかった。今後の課題である。					